

1、基本理念

「夢はでっかく、歩みは一步一步」

どんなに重い障害があっても、一人の人間として生き生きと活動できる場所を目指します。「育ち合い、支え合いを大切にしたい、真に人間らしい営み」をめざして、彼らを取り巻く家族、そして職員たちが一緒になって、地域の人たちの理解を得ながら、ゆっくりと活動を展開していきましょう。

沿革

1993年「どんなに重い障害があっても地域で生活したい」という思いのもと、麦の里の活動は始まりました。

既存の施設からも断られるような、重い知的障害者や重複障害者を受け入れながら活動を続けています。障害を持ちながら前向きに頑張っている人たちを、共に生き、共に成長する「仲間」として、排除せず、彼らと共に麦の里は成長してきました。

- 1991年 4月 民家で活動開始
- 1993年 3月 障害者とともに歩む麦の会設立
- 1994年 5月 旧上品野小学校で作業開始
- 1995年11月 共同作業所麦の里開所
- 2003年 7月 社会福祉法人麦設立
- 2004年 9月 身体障害者授産施設・通所療護施設「麦の里」開所
- 2009年 2月 グループホーム建設予定地取得
- 2011年12月 生活介護・就労継続支援B型多機能事業所へ移行
- 2013年 2月 グループホーム用中古住宅取得（品野町1丁目・第2ホーム）
- 2015年 4月 グループホーム「七色の麦」開所
- 2019年 5月 グループホーム「七色の麦」の3番目のホームとして「青色の麦」開所

2、運営方針

- 1) 私たちは社会的使命と社会的責任を認識し健全な事業運営を行います。
- 2) 私たちは公正公平を原則とし、「相談」と「話し合い」を基本に、民主的な事業運営を展開します。
- 3) 私たちは、様々な障害を抱えた利用者を、「共に、同じ地域社会の中で生活していく人間」あるいは「共に、仕事を分かち合いながら働く人間」として認め、その存在を「自分と等しく社会の一員である」と認めて接していくために「なかま」と呼びます。
- 4) 私たちはなかまの安全と安心を守るとともに、障害者の自立支援となかま本位の精神を尊重し、誠実な施設運営を展開します。

- 5) 私たちは、なかまはもちろんのこと、職員その他すべての関係者の人権を尊重します。
- そして、発達保障の立場に立ち、一人ひとりの「主体性」を尊重しながら、地域福祉の健全な発展に貢献します。
- 6) 情報マネジメントを基本にして、運営面のすべてにおいて情報公開を原則とした透明性のある事業運営を行います。

3、法人運営

1) 理事会・評議員会

理事会	2020年5月28日	2019年度事業報告案 2019年度決算案 監事監査報告 理事長業務報告
評議員会	2020年6月18日	2019年度事業報告 2019年度決算 監事監査報告
理事会	2020年10月 日	予算執行状況 補正予算案 理事長業務報告
評議員会	2020年10月 日	予算執行状況 補正予算
評議員選任解任委員会	2021年2月 日	2021年6月からの評議員の選任
理事会	2021年3月 日	予算執行状況 補正予算案 2020年度事業計画案 2020年度予算案
評議員会	2021年3月	予算執行状況 補正予算 2020年度事業計画 2020年度予算

2) 監事監査

2020年5月初旬～中旬にかけて行います。

4、事業計画

1) 短期計画（1年～2年）

今年度中に、麦の里の就労継続支援B型事業を廃止し、生活介護単独事業所とします。(職員補充すると職員が辞める状況があり、実施に至っていません)

将来的な事業展開に備え、新たな事業用地を探します。良い物件があった場合は、理事長に相談しながら取得に向け進めます。

麦の里・七色の麦の防災グッズは、瀬戸市と協議し、必要な整備を進めます。

麦の里ビジネスフォンの更新(2023年までに実施予定を前倒し実施)

蛍光灯生産中止動向を注視し、麦の里全館LED化を検討する。

パナソニック 2019年3月器具生産中止(オノブランド[®]蛍光灯は生産終了)

三菱電機 2021年3月までにすべて生産中止

日立 2020年3月生産中止

東芝 2020年3月までに生産中止

ステップ3号の更新(日本財団等補助団体への申請を行う)

軽貨物車の更新(日本財団等補助団体への申請を行う)

麦の里駐輪場整備

2) 中期計画(3年~5年)

2025年までに第2麦の里の開所を目指します。

麦の里大規模改修に向けた点検及び改修の実施計画作成、実施。

3) 長期計画(5年以上)

グループホーム事業の拡充

生活介護事業の拡充

麦の里大規模改修の本格実施

4) 事業計画の繰り上げ実施

緊急を要する場合は、各事業計画について繰り上げ実施する場合がある。

国の政策や経済的な状況等により、各事業計画の繰り上げ、繰り下げを行うことがある。

5、地域公益活動

福祉有償運送事業の実施。

麦の里仲間の給食費軽減措置の継続(材料費代1食275円を230円に軽減)。

近隣住民との交流。地域行事への貢献。

七色の麦多目的ホールを活用した地域貢献の実施(講演会等)

6、人材育成及び確保

研修への参加、資格取得の支援を実施します。

事業拡大のため前倒しで職員採用を進めます。

妻の里 2019 (H31) 年度事業総括 (案)

2020 (R1) 年度事業計画 (案)

I. 職員体制について

(1) 日中活動の施設とホームの安定、青色の麦の開所に向けて 兼務体制をさらに拡充させたい

《2019年度総括》

- ① 11月に正職員が1名入職したが、12月に10年勤めてきた正職員が1名退職した。
- ② 6月に青色の麦を開所することができた。青色の麦は、12月より4泊5日にすることができた。青色の麦の開所に伴い、赤・緑色の麦から2名の仲間が青色の麦に移り、赤・緑色の麦には7月から新たに3名の仲間が入所した。このことから遅番職員の配置を増やすこととなり、特に男性正職員の遅番に入る回数が増えることとなり負担が増えた。一方、女性の遅番職員は、新たに日中の職員で遅番ができる職員が1名増えた。女性職員の負担は軽減してきている。
- ③ 年度後半に早番のできるパート職員が1名退職したことで正職員の負担は増えた。
- ④ 遅番担当の職員は遅番の配置が増えたこともあり、午前からの出勤というのが増えた。
- ⑤ 青色の麦の開所、赤・緑色の麦の新たな仲間の受入れのことから体験利用に関しては安定するまで中止している。どうしてもという場合には応相談し、受入れている。
- ⑥ 看護師の確保や喀痰吸引第三号研修取得者が業務に入る体形は整備できていない。
- ⑦ ホーム専属の職員が1名増えた。
- ⑧ 職員確保のための人材紹介報奨金制度を導入した。
- ⑨ 正職員の人数が少ない日は、パート職員と仲間以外で外作業に出かける機会を作った。

《2020年度 方針案》

○日中活動の施設とホームの安定、兼務体制を拡充していく

【短期目標】

- ① 遅番、早番できる職員の確保をしていきたい。ホームページをリニューアルしたことで少しずつ募集が出始めているので、継続していきたい。また、人材紹介報奨制度も導入したので活用していきたい

- ② 引き続き、日勤の職員で遅番、早番のできる職員を増やしていく。
- ③ 正職員の負担軽減のために、少しずつパート職員にも、正職員無しでも仲間と一緒に仕事をできる機会を作っていきたい。

【中長期目標】

- ① 喀痰吸引第二号、第三号の資格取得者を増やしていく。
- ② ホーム専属の職員を増やしていく。

【2】青色の麦の早期開所に向けて職員を増やしたい

《2019年度総括》

- ① 11月に正職員として女性1名が入職。しかし、12月に女性正職員1名が退職したため、正職員の増員とはいかなかった。
- ② 職員確保の一環としてホームページをリニューアルした。
- ③ 七色の麦の4泊5日は実現できていないが、昨年度より夜勤のできる女性パートが1名増えたこと、赤・緑色の麦に夜勤に入る正職員を増やしたことで青色の麦を開所することができた。
- ④ 就職フェアには参加しなかった。

《2020年度方針案》

○ **新しい施設のために正職員の増員をしていきたい**

【短期目標】

- ① 職員増員のため人材紹介報奨制度も導入したので活用していきたい。
- ② 就職フェアに積極的に参加していく。
- ③ 準正職員という新たな立場を造設して、正職員としての採用の幅を広げた。

【中長期目標】

- ① 第2施設、七色の麦の4泊5日を実現していくために、職員を増やしていきたい。

【3】職員のスキルアップのために職員研修を積極的に行いたい

《2019年度総括》

- ① 研修の情報に関しては、事前提示をして参加希望はあったが、行事やコロナウイルス感染拡大防止対策と重なることもあり、参加できた研修は少なかった。一方で、参加した研修は正職員のみならずパート職員の参加も見られた。
- ② 今年度、強度行動障害の研修参加はなかった。
- ③ 年度後半に1名、サービス管理責任者の研修参加をした。
- ④ 今年度は、正職員1名が介護福祉士の資格取得を目指している。

《2020年度方針案》

○職員研修に積極的に出してスキルアップしていく。

【短期目標】

- ① 今後も研修の情報を事前に提示していく。たくさんの職員が参加できるように積極的に促していく。
- ② 研修会や他施設の見学会、他施設との交流会を通して、それぞれの職員が情報を入手していく。
- ③ 強度行動障害の研修は、積極的に参加していく。
- ④ サービス管理責任者の資格取得者を増やす。

【中長期目標】

- ① 第二号、第三号研修、介護福祉士、社会福祉士などの資格取得を応援していく。

【4】今後に向けて業務体系を変えていく

《2019年度総括》

- ① 今年度は、会議がある、ないに関わらずA、B、療護に分かれてミーティングを行うことで時間短縮を図った。一方で、送迎や遅番等で職員が揃わないことが多く、情報共有ができていないことが多かった。
- ② 職員ミーティングの在り方を検討できなかった。
- ③ 月曜～水曜は遅番や夜勤で職員が揃わないため、木曜日の会議で仲間の情報交換をして職員間で共有してきたが、年度後半は青色の麦が4泊5日になったことから開催を金曜

日にした。

- ④ 今年度は、七色の麦の会議を行えなかった。
- ⑤ 年度後半に内職担当の正職員が退職となった。それに伴って、パート職員に内職担当として業務にあたってもらったこととなった。

《2020年度方針案》

○今後に向けて業務体系を変えていく

【短期目標】

- ① ミーティングの在り方、方法の検討をしていく。七色の麦についても同様に検討していく。
- ② 七色の麦の会議の開催。

【中長期目標】

- ① 第2麦の里の開所を目指して準備をしていく。

Ⅱ. 日中活動の中身を見直そう

【1】 ☆Aグループは、作業中心としつつ仲間たちによる

自主的な活動ができるようにしていく

☆Bグループは、作業を通じて仲間たちの自我の発達に取り組む

《2019年度総括》

- ① 今年度もAグループは、内職、自主製品の作成、パン作業など仕事中心のスタイルは継続してきた。そのような中でもレクリエーションは仲間たち中心で計画していくことができた。
- ② 12月に内職担当の職員が退職となった。現状の正職員の負担を考え、1月以降、パート職員が内職担当になり、仲間たちも気持ちを新たに取り組んでいる。
- ③ きょうされん愛知大会にAグループの仲間たちが希望者が数名、グループワークに参加した。

- ④ 今年度のBグループの作業は、七色の麦との兼務体制の中で作業を3つに分けることが難しい日が多かった。
- ⑤ Bグループの仲間たちのレクリエーションは、それぞれ個別のやりたいことを汲み取ることは難しかったが、そのような中でも個々のやりたいことができた。
- ⑥ A・Bグループともに仲間の会は定期開催できなかった。
- ⑦ 避難訓練は、年度後半に1度取り組んだ。

《2020年度方針案》

○作業の活動を見直してみよう

☆Aグループは、作業中心としつつ仲間たちによる

自主的な活動ができるようにしていく

☆Bグループは、少しずつ自我が育ってきているので、

それを大事にしながら、作業に取り組む。

【短期目標】

- ① 仲間の会の定期的な開催
- ② 避難訓練を年に2回行えるようにしていく
- ③ レクリエーションを継続する。
- ④ A・Bグループ問わず、仲間たちの日々の様子をよく見ていき、職員間で共有していく。

【中長期目標】

- ① 仲間の会、または個別にでも話し合う機会を持って、仲間たちの自主性を育てたい。

〔2〕重度重複の仲間たちの活動を考えよう

☆日々の業務を安定させる中で計画的に取り組みを作っていく

《2019年度総括》

- ① 入浴のない水曜日の取り組みについては、車いすダンスを中心に活動的に行えている。
- ② 昨年度より続けている「紙芝居を借りにいく」ことや、近くの公園に暖かい時期に散歩に行くなど外に行く機会を持つことができた。
- ③ レクリエーションがなかなかできない中で、車いすダンスの発表をする機会としてお楽しみ発表会を行った。仲間たちも繰り返し練習することで覚え、楽しんでいた。
- ④ 療護のための職員研修・見学の計画はしていたが、行事と重なり行けなかった。
- ⑤ 看護師の確保や喀痰吸引第三号研修取得者が業務に入る体形は整備できていない。

《2020年度方針案》

○重度重複の仲間たちの活動を考えよう

日々の業務を安定させる中で計画的に取り組みを作っていく

【短期目標】

- ① その日の仲間の体調や気候に応じて活動内容は相談していくが、入浴のない水曜日の取り組みを計画的に行う。
- ② 1年の取り組みを計画していく。
- ③ 積極的に職員研修に参加する。他施設の見学にも積極的に出掛ける。
- ④ 看護師の夜勤に伴い、看護師をもう1名確保する、また、第三号研修取得者が実際にできるように整備する。

【中長期目標】

- ① 医ケアの仲間たちの急な宿泊にも対応できるように、第二号、第三号研修の資格取得者を増やしていく。

[3]自分の生活について考えよう

☆**作業以外の場面での配慮が必要な仲間が多くでてきている。**

仲間たちと話し合いながら、作業以外のことにも取り組んでいく

《2019年度総括》

- ① 仲間の会は定期的な開催はできなかった。仕事の話とレクの話が主だった。
- ② Aグループに専属で入っていた職員が退職し、個別の悩みや相談を仲間たちが話せる機会が減った。
- ③ 今年度もPTの先生とも相談しながらリハビリをしている。リハビリの他にも、補装具、車いすの作り直しをしている。
- ④ 仲間の通院の付き添いに対応した。
- ⑤ ミーティングの時間に全員がなかなか揃わず、職員間で仲間たちの身体のことや生活面の問題を全員で共有できなかった。

《2020年度方針案》

【短期目標】

- ① 仲間の会を定期的開催して、話し合う機会を作る。内容によっては、個別でも話し合っていく。
- ② 仲間の身体の変化に注意しながら、PTと相談をして作業面だけではなく、仲間たちの生活も支えていく。
- ③ 仲間たちの身体の変化だけでなく、生活面も職員間で共有しながら話し合う機会を設けていく。

【中長期目標】

- ①職員間で問題意識の共有をしていくと同時に仲間たちとも「将来のことや親亡き後のこと・働き方など」について話し合っていく

2019(R1)年度 事業総括

共同生活援助事業 七色の麦

1、仲間ひとり1人の生活スタイルの確立

① 新たに青色の麦を開所し、赤・緑・青色の麦の仲間の個々の生活リズムを安定させたい

- ・今年度、七色の麦は、3名の仲間が7月より入所した。体調面での不安はあるものの体験利用をしてきた経験からか少しずつ安定してきている。特に新たなメンバーに関しては、「食事・排泄・入浴・睡眠」といった生活の基本的な部分のリズムが安定しつつある。
- ・青色の麦は、6月後半に開所した。緑色の麦から2名が入り、新たに3名の仲間がメンバーとなった。まずは、「食事・排泄・入浴・睡眠」といった生活の基本的な部分に慣れてくことからスタートした。七色の麦から移動してきたメンバーは、これまでの七色の麦での経験から安定してきている。また、新しく入居した仲間もこれまでの体験利用の経験から比較的、安定している。一方で、「食事・排泄・入浴・睡眠」以外の部分について集団としても個々としても課題となってくる。

② 青色の麦も含めて3泊4日を維持する。

- ・七色の麦は、3名の仲間が新たにメンバーとして7月下旬より、加わった。仲間たちの様子を見ながら10月下旬には全員が3泊4日になった。
- ・青色の麦は、6月下旬より2泊3日でスタートした仲間が2名いたが、8月初旬には全員が3泊4日となった。また、12月中旬より4泊5日に挑戦することとなった。

2、集団生活の中で「ルール」作り

① 仲間同士の関係を深めていくことを大事にしていく

- ・今年度も仲間同士の関係が深まっていくことを課題の1つとして取り組んできた。日々の生活の中で仲間たちが声をかけあったり、話し合いを持ったりしてきた。
- ・赤・緑色の麦においては、メンバーの入れ替わりがある中で新たなメンバーも含め、仲間意識は深まってきている。仲間同士で話しかけあうということが

新メンバーを巻き込んで展開されている。一方で、言葉がない仲間が多い中で、仲間同士の関係を深めていくには、「一緒にできるモノやコト」の必要性を感じた。

- ・青色の麦に関しては、自室で過ごすことが多い中で、動きの良い仲間が自室にいる仲間と声を掛けたりする場面が多々みられた。新たなメンバーとの生活の中で、仲間意識が育まれつつあると感じた。一方で、仲間同士の関係性を深めていくのに仲間たちが共同生活の中で役割を持つことが大切だと感じた。

② 集団の中にも仲間の「個」の部分に関しても大事にしていく

- ・赤・緑色の麦では、今まで培ってきた「話し合い」を大切にしている。年度半ば以降、新たなメンバーを迎え入れて再スタートした赤・緑色の麦では、言葉のない仲間が増えた。その中では、主張が言える仲間が中心になってしまふ。職員を介しながら仲間たちで「話し合う」ということを意識していきたい。
- ・青色の麦は、まず、生活リズムを作っていくことを大事にしてきた。そのような中で部屋でCDを聞きたい、勉強したいなど仲間たち食事・睡眠・入浴以外の部分では、自分のやりたいことをしてもらうことで生活リズムの安定ができてきた。少しずつ慣れてきた中で、「自分のほしいものを買いたい」という仲間も出てきた。個人個人でしたいことは様々であるが、動きの良い仲間たちであるので、余暇活動の充実というものを大切にしていきたい。

3、体験利用の仲間たちの定期的な受け入れ

① 体験利用の仲間たちの生活リズムを安定させていく

- ・今年度は、青色の麦の開所、赤・緑色の麦の新しいメンバーの受け入れがあり、体験利用は6月より中止している。定期的に受け入れてきたことで徐々に安定してきたところであったので非常に残念であったが、新しいメンバーの生活リズムが安定してきたところでの再開を目指したい。

4、職員体制の確立と業務の確立

① 連絡体制の確立

- ・赤・緑色の麦、青色の麦ともに時間帯をずらしてミーティングを行っている。一方で毎日の記録はより簡素化してきている。ミーティングの方法を検討するにあたって記録を使っの申し送りについても検討していきたい。

② 職員確保

- ・青色の麦を開所でき、4泊5日にすることができた。一方で、赤・緑色の麦は、新たなメンバーを迎え入れ、遅番、早番職員を増やし、3泊4日の継続はできたが4泊5日は実現できなかった。女性の夜勤者、男性の遅番、早番のできる職員の確保をし、4泊5日を実現したい。

5、品野1丁目のグループホーム（青色の麦）の年内開所を目指す

- ・女性で夜勤のできるパート職員が青色の麦に配置することができ、赤・緑色の麦に遅番・早番を増員できたことで青色の麦の開所は6月にできた。

2020(R2)年度 事業計画

共同生活援助事業 七色の麦

1、仲間ひとり1人の生活スタイルの確立

①赤・緑・青色の麦の仲間の個々の生活リズムを安定させたい

- ・赤・緑色の麦では、新たなメンバーを迎えて2年目となる。特に新しいメンバーに関しては緊張感もある様子。体調面の様子を見ながら慣れていけるように生活リズムを整えていきたい。
- ・青色の麦は、寝不足の仲間がいたり安定しきれていない仲間もいる。個々のペースに合わせてリズムを安定させたい

②赤・緑色の麦の4泊5日の実現と青色の麦の4泊5日の継続

- ・赤・緑色の麦は、まだまだ3泊4日を維持したい仲間もいる。職員体制を整えることができれば4泊5日に移行していく。その中で仲間1人ひとりのペースに合わせて4泊5日を実現したい。

2、集団生活の中で「ルール」作り

① 仲間同士の関係を深めていくことを大事にしていく

- ・赤・緑色の麦は、言葉がない仲間が多い中で、「一緒にできるモノやコト」が大事で仲間意識を育むことに繋がってくる。一緒にDVDを見る（内容は仲間たちで相談しながら）コトや一緒に遊べるモノの整備をして「一緒に遊ぶ」ということを取り入れていきたい。
- ・青色の麦は、仲間同士の関係性を深めていくのに仲間たちが共同生活の中で役割の必要性を感じている。調理や掃除など役割ができつつある中で、全員がしっかりと役割を持てるようにしていきたい。

② 集団の中にも仲間の「個」の部分に関しても大事にしていく

- ・赤・緑色の麦は、言葉のない仲間が多い中で、仲間たちの主訴を汲み取ることを今まで以上に意識していく。その中で、仲間同士の関係性も深まっていく。また、職員が入りながら、「話し合い」をしていきたい。

- ・青色の麦は、動きの良い仲間たちが多く、様々なやりたいことが出てきている。特に余暇の部分が重要となるが、本人たちのやりたいことを尊重していきたい。一方でやりたいことばかりやるのではなく、やらないといけないことも同時に意識できるようになってもらいたい。青色の麦でも「話し合い」をもっとしていきたい。

3、体験利用の仲間たちの定期的な受け入れ

① 体験利用の仲間たちの生活リズムを安定させていく

- ・体験利用の再開に向けて赤・緑色の麦の安定を図りたい。赤・緑色の麦は9名の仲間たちが生活している。1名の体験利用の枠がある。月に1泊2日で以前同様に再開できるようにしたい。

4、職員体制の確立と業務の確立

① 連絡体制の確立

- ・ミーティングの方法を検討する。赤・緑色の麦と青色の麦の両方のミーティングは時間的にも職員の負担は大きい。記録を使つての申し送りなど検討していきたい。

② 職員確保

- ・女性の夜勤者、男性の遅番、早番のできる職員の確保をし、赤・緑色の麦の4泊5日を実現したい。年度後半にできた職員紹介制度の活用や新たに準正職員の創設をし、職員確保に努めたい。

麦の里 年間行事計画案

2020年度

職員休日

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 水	1 金	1 月	1 水	1 月	1 水	1 土	1 土	1 土	1 火	1 火	1 火
2 木	2 土	2 火	2 木	2 火	2 木	2 日	2 木	2 日	2 水	2 水	2 水
3 金	3 日	3 水	3 金	3 水	3 土	3 金	3 金	3 月	3 木	3 木	3 木
4 土	4 月	4 木	4 土	4 木	4 土	4 土	4 土	4 火	4 金	4 金	4 金
5 日	5 火	5 金	5 日	5 金	5 日	5 日	5 日	5 水	5 土	5 土	5 土
6 月	6 水	6 土	6 月	6 土	6 土	6 月	6 月	6 木	6 日	6 日	6 日
7 火	7 木	7 日	7 火	7 日	7 日	7 火	7 火	7 金	7 月	7 月	7 月
8 水	8 金	8 月	8 水	8 月	8 月	8 水	8 水	8 土	8 火	8 火	8 火
9 木	9 土	9 火	9 木	9 火	9 火	9 木	9 木	9 日	9 水	9 水	9 水
10 金	10 日	10 水	10 金	10 水	10 水	10 金	10 金	10 月	10 木	10 木	10 木
11 土	11 月	11 木	11 土	11 木	11 土	11 土	11 土	11 日	11 金	11 金	11 金
12 日	12 火	12 金	12 日	12 金	12 日	12 日	12 日	12 火	12 土	12 土	12 土
13 月	13 水	13 土	13 月	13 土	13 土	13 月	13 月	13 水	13 日	13 日	13 日
14 火	14 木	14 日	14 火	14 日	14 日	14 火	14 火	14 木	14 月	14 月	14 月
15 水	15 金	15 月	15 水	15 月	15 月	15 水	15 水	15 土	15 火	15 火	15 火
16 木	16 土	16 火	16 木	16 火	16 火	16 木	16 木	16 日	16 水	16 水	16 水
17 金	17 日	17 水	17 金	17 水	17 水	17 金	17 金	17 月	17 木	17 木	17 木
18 土	18 月	18 木	18 土	18 木	18 木	18 土	18 土	18 火	18 金	18 金	18 金
19 日	19 火	19 金	19 日	19 金	19 日	19 日	19 日	19 水	19 土	19 土	19 土
20 月	20 水	20 土	20 月	20 土	20 土	20 月	20 月	20 木	20 日	20 日	20 日
21 火	21 木	21 日	21 火	21 日	21 日	21 火	21 火	21 金	21 月	21 月	21 月
22 水	22 金	22 月	22 水	22 月	22 月	22 水	22 水	22 土	22 火	22 火	22 火
23 木	23 土	23 火	23 木	23 火	23 火	23 木	23 木	23 日	23 水	23 水	23 水
24 金	24 日	24 水	24 金	24 水	24 水	24 金	24 金	24 月	24 木	24 木	24 木
25 土	25 月	25 木	25 土	25 木	25 木	25 土	25 土	25 火	25 金	25 金	25 金
26 日	26 火	26 金	26 日	26 金	26 金	26 日	26 日	26 水	26 土	26 土	26 土
27 月	27 水	27 土	27 月	27 土	27 土	27 月	27 月	27 木	27 日	27 日	27 日
28 火	28 木	28 日	28 火	28 日	28 日	28 火	28 火	28 金	28 月	28 月	28 月
29 水	29 金	29 月	29 水	29 月	29 月	29 水	29 水	29 土	29 火	29 火	29 火
30 木	30 土	30 火	30 木	30 火	30 火	30 木	30 木	30 日	30 水	30 水	30 水
31 日	31 日	31 水	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 月	31 月	31 月	31 月
★ 日立オムロン様祭で1日活動日		★ 1日活動日		★ 1日活動日		★ 1日活動日		★ 1日活動日		★ せともの祭り募金 1日活動日	

備考欄	利用開設 日数	職員休日 日数
仲間 22 日	仲間 19 日	仲間 21 日
職員 8 日	職員 12 日	職員 9 日

表の里 年間行事計画 案 2020年度

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	火	1	火	1	金	1	月	1	月
2	金	2	水	2	水	2	土	2	火	2	火
3	土	3	木	3	木	3	日	3	水	3	水
4	日	4	金	4	金	4	月	4	木	4	木
5	月	5	土	5	土	5	火	5	金	5	金
6	火	6	日	6	日	6	水	6	土	6	土
7	水	7	月	7	月	7	木	7	日	7	日
8	木	8	火	8	火	8	金	8	月	8	月
9	金	9	水	9	水	9	土	9	火	9	火
10	土	10	木	10	木	10	日	10	水	10	水
11	日	11	金	11	金	11	月	11	土	11	土
12	月	12	土	12	土	12	火	12	金	12	金
13	火	13	日	13	日	13	水	13	土	13	土
14	水	14	月	14	月	14	木	14	日	14	日
15	木	15	火	15	火	15	金	15	月	15	月
16	金	16	水	16	水	16	土	16	火	16	火
17	土	17	木	17	木	17	日	17	水	17	水
18	日	18	金	18	金	18	月	18	土	18	土
19	月	19	土	19	土	19	火	19	金	19	金
20	火	20	日	20	日	20	水	20	土	20	土
21	水	21	月	21	月	21	木	21	日	21	日
22	木	22	火	22	火	22	金	22	月	22	月
23	金	23	水	23	水	23	土	23	火	23	火
24	土	24	木	24	木	24	日	24	水	24	水
25	日	25	金	25	金	25	月	25	土	25	土
26	月	26	土	26	土	26	火	26	金	26	金
27	火	27	日	27	日	27	水	27	土	27	土
28	水	28	月	28	月	28	木	28	日	28	日
29	木	29	火	29	火	29	金	29	月	29	月
30	金	30	水	30	水	30	土	30	火	30	火
31	土	31	木	31	木	31	日	31	水	31	水
備考欄		★ 福祉のつどい?? まっとつながる祭??				★ 節分募金				★イロ-シートキヤパンは3月はありません。(東日本大震災募金の為)	
利用開設 日数	仲間 22 日	仲間 21 日	仲間 22 日	仲間 20 日	仲間 19 日	仲間 24 日	仲間 24 日	仲間 24 日	仲間 24 日	仲間 24 日	仲間 24 日
職員稼働 日数	職員 9 日	職員 9 日	職員 9 日	職員 11 日	職員 9 日	職員 7 日	職員 7 日	職員 9 日	職員 7 日	職員 7 日	職員 7 日

開所日数	254
職員所定休日日数	111
職員所定休日日数 +1日=夏季休暇	112